

土岐市総合計画基本構想案の主な修正について

第3回総合計画審議会でごいただいた意見及び事務局内で再度検討した結果、前回の案から修正を行った主な箇所は以下のとおりとなっています。

なお、前回の審議会委員から出された意見に基づく詳細な修正内容は、「第3回 土岐市総合計画審議会において出された意見と対応」をご参照ください。

表 主な修正箇所

頁	修正内容	備考
2 P	計画策定の背景に、協働の考え方を記載しました。	委員からの意見
3 P	『団塊世代が後期高齢者』と『リニア新幹線』に関する記述を記載しました。	委員からの意見
8 P	土岐市の強みの文章を全体的に見直し、修正しました。	委員からの意見
13 P	市の取り組みに対する満足度・重要度のグラフを大きくし、領域に関する説明を追加しました。	事務局内での再検討
14～15 P	まちづくり懇談会での意見について、内容を全体的に見直しました	委員からの意見
16～17 P	第3章 まちづくりの課題について、内容を全体的に見直しました。	委員からの意見
20～21 P	将来像について、前回審議いただいた意見をもとに、最終案を提示しました。	
24～25 P	土地利用構想について、将来像とのつながりがわかるように文章を追加しました。	委員からの意見
28～29 P	基本目標と施策の大綱の順番を入れ替え、施策の全体像が最初にわかるようにしました。	事務局内での再検討
28 P	基本目標の言葉について、全体的に見直しました。	事務局内での再検討
29～39 P	施策展開の方向性の文章について、全体的に見直しました。	事務局内での再検討

表 第3回 土岐市総合計画審議会において出された意見と対応

編章目	意見	対応
1-1-1	2 頁。「私たち市民と行政と」を、「市民と市役所、市議会が共有し」にするべき	指摘のとおり修正しました。
	2 頁。協働という言葉を使って、まちづくりに取り組むことを書くと良い	指摘のとおり修正しました。
1-1-2	基本構想図に示された『団塊世代が後期高齢者』と『リニア新幹線』をどこかに関連づける	「2 計画の構成と期間」の冒頭文において、記載しました。
	8 頁。美濃焼は「全国でも有数」ではなく「世界でも有数」	「世界でも有数」との確認がとれないため、原文とおりにしています。
	シデコブシは「全国的」ではなく「世界的」とし、ハナノキも追加する	シデコブシについては、指摘のとおり修正しました。
1-2-4	まちづくり懇談会で出た特徴的な意見も掲載するべき。	特徴的な意見も掲載するように修正しました。
1-3	課題をしっかりとまとめて、課題を解決するために将来像を設定し、この基本方針でやっていきます、というのがあった方がよい	まちづくり課題の内容について、見直し、修正しました。
	病院改革プランを作ることを書いておくとよい	まちづくり課題「人口減少の抑制と快適に住み続けられる居住環境形成」において地域医療に関する内容を記載しました。
	買い物難民が増えている。今後 10 年では、この問題を書かなくてはいけない	まちづくり課題「人口減少の抑制と快適に住み続けられる居住環境形成」において買い物難民に関する内容を記載しました。
	商工業の振興で、買い物難民の課題も書いて欲しい	
	自治の活動資金の問題を入れて欲しい	まちづくり課題「持続可能なまちづくりを支える行財政運営」において自治に関する課題を記載しました。
	市民協働、NPO、自治会活動の活性化というようにいれて欲しい	
	厳しい財政状況や人口減少を踏まえると、選択と集中は必要ということくらいの事は、最低限書いて欲しい	まちづくり課題「持続可能なまちづくりを支える行財政運営」において選択と集中に関する課題を記載しました。
	重点を置くところ、置かないところは、実施計画の中で、示していけばよいと思う	まちづくり課題「持続可能なまちづくりを支える行財政運営」において選択と集中に関する課題を記載しました。具体的な内容は実施計画での記載を検討していきます。
2-1	市長の公約で使った言葉を将来像に入れるケースもあるので事務局で検討して欲しい	将来像については、市長と相談のうえ、事務局案として提案しています。
2-2-1	22 ページ。出生率 2.1 にするには難しい。人口減少を想定する必要がある。	まちづくり課題「人口減少の抑制と快適に住み続けられる居住環境形成」において人口減少社会に対する課題を記載しており、その対策は実施計画等に記載していきます。
	目標は、一般的には客観的な指標もあわせて使うことが良い	まちづくり指標については、市民が暮らしを通じて幸せを実感できるかどうかを図ることを主眼におき、原文とおりにしています。
	23 頁。まちづくりの指標は 70%とあるが、本来目指すのは 100%。	まちづくり指標の冒頭文章に、「長期的には 100%を目指すべきもの・・・(略)」と記載しました。
	定められているまちづくり指標と将来像との整合性をとる。	幸せを実感できる指標として、将来像と整合性が取れていると判断し、原文とおりにしています。

編章目	意見	対応
2-2-2	27 頁。土地利用構想図と 5 つの基本方針が、図にどう表れてくるのかわからない。まちなかをどうするのかというイメージがない。	「土地利用の方向」において、冒頭文章を追加して説明しました。
	土地利用構想で駅前のにぎわいづくりと郊外の大型店誘導など矛盾がある。矛盾点を解消するようにやっけていかなくてはいけない	駅前まちなかとして必要な機能、郊外は交通利便性を活かした商業機能として位置づけており、原文とおりとしています。
	土地利用構想について ・前後との関わりが無い内容となっている。 ・まちづくり課題との整合性をとる。	「土地利用の方向」において、冒頭文章を追加して説明しました。
2-3	基本目標の行財政運営は、通常一番下に来ることが多い	基本目標 4, 5 を入れ替えました。
3-1	強くやるんだというもの、総合病院を改革することなど、土岐市の色が着いた基本構想にして欲しい。	具体的な事業については、実施計画で記載することとし、基本構想においては、長期の方向性を示す内容のみとしています。
	本当に重点とする所と我慢しなくてはいけない所を整理し、今のこの場所での特殊解を出すべき	具体的な事業については、実施計画で記載することとし、基本構想においては、長期の方向性を示す内容のみとしています。
3-1-1	28 頁。施策の 1-1 に何を書くかが、重要。一番初めに「地域医療の充実」が来るべき。大事なものを先にもってきて。配列を少し考えると良い。	各方針において、施策展開の方向性の順番を見直しました。
	総合病院をどうするかを、行政が掲げるべき。「地域医療の充実」は「総合病院の充実」とするべき	総合病院に関する内容だけではないので、原文とおりとしています。
	病院のお客は市民。そこに市民がどう支えるかがあるべき。病院もサービスを提供するだけでなく、市民協働の考えが必要。	「市民が地域で安心して適切な医療を受けられるよう」との表現を記載しました。協働については、実施計画で対応することとし、個別には記載しません。
	29 ページ。「社会福祉の充実」より「相談・支援の充実」という名称の方が良い	「生活支援の充実」に修正しました。
	公共施設をどうするのか、検討する予算をつけて、検討する必要がある	施策 5-4 「適正な行政経営の推進」において公共施設の適正な維持管理に関する内容を記載しました。
	行政の決意を謳って欲しい。過剰な公共施設、老朽化した設備があるので、身の丈にあったものにするという決意が欲しい	
3-1-5	医者に行って帰ってくるまでの間に、商店があるのが一番良い。まちなかの人に対して、市として何ができるかを考えたい。	施策 4-6 「住環境・街並みの整備」において文章を見直しました。
3-2	すべての分野で市民との協働がわかるように心がけてほしい	実施計画で対応することとし、個別には記載しません。
4-2	『(2) 信頼される市政運営』という表現はおかしい。	「健全で持続可能な市政運営」に修正しました
実施計画	市長が主張する「強いまちづくり」「元気なまちづくり」「やさしいまちづくり」を計画の中にもう少し反映するべきではないか。	「強い、元気、やさしいまちづくり」については、実施計画で施策を出していきます。
	実施計画の中で、市、自治会の役割を明確にした方が、分かりやすい	指摘のとおり、実施計画で検討します。
その他	自分のまちをどうしたいのか、駅前に住んでいる人に考えてもらう、住民の意見を聞いて欲しい	個別計画等を策定する際に、住民の意見を反映できるようにします。